議員定数に関する調査特別委員会記録

令和6年1月19日（金）午後1時29分～午後1時50分（909会議室）

○出席委員（11名）

委員長	半沢 正典	副委員長	斎藤 正臣
委員	高木 直人	委員	浦野洋太郎
委員	佐藤 勢	委員	山田 裕
委員	遠藤 幸一	委員	根本 雅昭
委員	川又 康彦	委員	羽田 房男
委員	黒沢 仁		

○欠席委員（なし）

○議会事務局出席者

事務局長	佐藤 光 憲	次長兼総務課長	山田 正 明
議事調査課課長	加藤 淳	議事調査課課長補佐兼議事係長	梅津 司
総務課庶務係長	神野 由希子		

○議題

1. 議員定数の経過等について
2. 委員会の調査方法について
3. 今後のスケジュールについて

午後1時29分 開 議

（半沢正典委員長） ただいまから議員定数に関する調査特別委員会を開催いたします。

協議事項の1の委員会の進め方についてであります。委員会の進め方についてを議題といたします。

本日から当委員会の実質的な協議を行ってまいります。今回は（1）、議員定数の経過等について、（2）、委員会の調査方法について、（3）、今後のスケジュールについてなどを協議してまいりたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

まず、（1）、議員定数の経過等について、所管事項の検討を開始するにあたり、当委員会の設置目的、また議員定数に係る地方自治法の規定の変遷、本市議会における対応の経過につきまして、資料に基づき事務局より説明をいたさせます。

(議事調査課主査) それでは、私のほうから議員定数の経過等について説明させていただきます。

資料の1、特別委員会設置の件をご覧ください。まず、今回の委員会の目的につきまして改めてご確認いただきたいと思います。今回の委員会の設置目的ですが、本市議会の議員定数の在り方について調査を行うために、令和5年12月定例会議において設置されました。設置の期間は、当該調査が終了するまでとなっております。

次に、資料2、議員定数に係る地方自治法の規定の変遷についてという資料をご覧ください。こちらにつきましては、議員定数に係る地方自治法の規定の変遷についてまとめたものになってございます。まず、(1)、昭和22年に地方自治法が制定されまして、議員定数については人口規模に応じて法律で定められることとなりました。

次に、(2)、平成11年7月ですが、地方分権一括法による改正がされました。主な内容としては、議員定数の法定定数制を廃止いたしまして、人口区分に応じた上限数を定めるものになりました。これによりまして、地方公共団体におきましては上限数の範囲内で議員定数を条例で定めることとなりました。

次に、(3)でございますが、平成23年4月、こちらの改正によりまして、地方公共団体の議会の議員定数については、上限数を人口に応じて定めている規定が撤廃されまして、市町村の議会の議員の定数は条例で定めることとなりました。

次に、資料3、議員定数に関する議会の対応等についてという資料をご覧ください。こちらにつきましては、本市議会の議員定数に関する対応等をまとめたものとなっております。昭和59年9月の議員定数調査特別委員会の設置から記載してございます。

平成13年6月から平成15年1月の部分につきましては、先ほどご説明いたしました平成11年7月の改正に伴う対応でございます。議員定数は38名となっております。

その下の部分になりますが、平成19年6月には福島市及び伊達郡飯野町の配置分合に伴う議会の議員の定数に関する協議の件が議決されまして、福島市と飯野町の合併に伴いまして、現在の議員の残任期間に限りまして、議員定数が飯野町を区域とする選挙区の議会議員1名を加えた39名となっております。

その下の平成22年の部分でございますが、平成22年6月に設置されました議員定数調査特別委員会では、平成22年12月に委員長報告を行っております。なお、平成23年7月の選挙より、先ほど申しました飯野選挙区分の1名の増加の期間終了に伴いまして、定数が38名に戻っております。

最後に、平成26年の部分ですけれども、平成26年3月に設置された議員定数削減調査特別委員会でございます。こちらが直近の議員定数に関する調査特別委員会となります。平成26年3月に設置されまして、同12月10日に委員長報告を行っております。12月16日に議員定数条例の一部を改正する条例制定の件が提案されまして、議決。12月26日に施行されまして、議員定数が38名から現在の35名となっております。

次に、資料4になりますが、そちらにつきましては今ほど説明しました議員定数の変遷を表にまとめたものになりますので、ご覧いただければと思います。

資料1から4の説明は以上となります。

(議事調査課課長補佐兼議事係長) 私のほうからは、資料の5の1、5の2に基づきまして、直近2回の議員定数に関する特別委員会の委員長報告についてご説明をさせていただきます。

まず、資料の5の1のほうをお開き願います。平成26年12月の委員長報告ということになってございますが、この際の特別委員会につきましては平成26年の3月に設置されまして、同じ年の12月、委員長報告ということで、計11回委員会を開催して、こちらの委員長報告を行っている内容でございます。内容につきましては、1ページ目から記載してございますけれども、後ほどお読み取りをいただきたいと思っております。

私のほうからご説明いたしますのは、最後の5ページ目のマーカーされている部分でございます。黄色のところです。調査の結果につきましては、3人削減とする議員定数35人、それから2人削減とする議員定数36人、1人削減とする議員定数37人が適当であるとの意見、また削減数はゼロが適当であるとの意見、これら複数の意見に取りまとめましたということで、各論を載せて委員長報告として行ってございます。

先ほど説明しましたとおり、この委員長報告を受けまして、12月の議会でまず議員提案として2人削減の議案が出されて、こちら否決をされております。そのほか3人削減という議員提案で議案が提出されまして、現在の定数35人ということに落ち着いてございます。

資料5の1についての説明は以上でございまして、続いて資料の5の2をお開きいただきまして、こちらは、平成22年12月に委員長報告を行った前の前の特別委員会の委員長報告ということになります。1ページ目のところ、マーカーしてございますけれども、こちらについては平成22年の6月に委員会として設置されてございます。そして、委員長報告は、12月までの間に16回委員会を開催しまして、こちらの委員長報告に到達をしております。また、議論の経過については、後ほど委員の皆様方お読み取りいただくとしまして、また後ろの部分、8ページをお開きいただきまして、マーカーしてございます部分を読み上げます。結論の部分になりますが、現在の福島市議会の議員定数38人は、人口規模、面積から考えても適切である意見が大勢を占め、一部不適切ではないとの意見も含めて一定の理解を得ることができました。また、選挙に対する定数の在り方については、福島市の条例定数に基づき行われるものでありますが、今回の選挙は現状の38名の定数で実施すべきとの意見、36名の定数で実施すべきとの意見、並びに次回に限らず次々回も含めて定数の見直しを実施し、選挙をすべきとの意見がありましたということでまとめてございます。

こちらの12月の委員長報告を受けまして、この際も議員提案で議員定数に関する議案が出されておまして、まず2人削減の議案について否決されてございます。もう一つ、4人削減ということでの議案も提案されておりますが、否決されておまして、この際は38人の議員定数のまま変わらずとい

うのが平成22年の委員長報告に伴う動きでございました。

(1)の部分に対する事務局からの説明は以上でございます。

(半沢正典委員長) ただいま事務局よりお手元の資料1から5につきまして説明がありました。これに関しましてご意見、確認事項等ありましたらお延べください。

【「なし」と呼ぶ者あり】

(半沢正典委員長) 後でお気づきの点があれば質問していただいても結構です。

そうしたら、次のほう移りたいと思います。次に、(2)、委員会の調査方法について、福島市議会基本条例においては、議員定数の改定にあたっての視点や参考とする意見などが規定されております。それも踏まえまして事務局より説明をいたさせます。

(議事調査課課長補佐兼議事係長) それでは、資料6をお開き願います。福島市議会基本条例抜粋ということで載せてございます。議員定数の改正にあたってはこのような視点でということが議会基本条例で定められておりますので、まずは第31条の部分のご説明を申し上げます。

議員定数の改正にあたっては、行財政改革の視点だけではなく、市政の現状及び課題並びに将来の予測及び展望を十分に考慮するとともに、市民または学識経験を有する者からの客観的な意見を参考にするものということで定めてございます。

続いて、2項でございしますが、議員定数の基準は人口、面積、財政状況及び市の事業課題並びに類似市の議員定数と比較検討し、決定するものとしてございます。

3項以降ですが、議員定数を定めた条例の改正議案については、市民の直接請求による場合及び市長が提出する場合を除き、明確な改正理由を付して、議員または委員会が提出するものとする。

また、4番目でございしますが、議員の定数については、別に条例で定めるということになってございます。

上2つの部分について、このような視点でということで規定をしておるものでございます。また、条ごとの逐条解説ということで、下の四角書きで囲ってございますので、こちらについてはお読み取りをいただければと思います。

では続いて、資料7をお開きいただきまして、議会基本条例に客観的な意見を参考にするというふうに出ておりますけれども、ではその具体的な手法はどんなものがあるかということで、4つ考えられますので、こちらのほう資料のほうにまとめてございます。

1つ、一番上が参考人招致でございします。こちら所管事務調査などで皆様おなじみだと思いますけれども、市政調査事項に関して学識経験者などから意見を求めるものでございます。

2番目の公聴会につきましては、具体的なある程度の結論に対して学識経験者等の公述人から賛成または反対の意見について賛否を求めるとというのが2番目に記載しております公聴会というものになってございます。

3番目の意見交換会ですけれども、こちら具体的な結論がある程度出たところで、その結論に対

して広く市民に意見を求めるという場になってございます。市議会ホームページ等について周知を行って、意見を求めるというような形になってございます。

4番目のパブリックコメントでございますけれども、こちらで計画の素案が固まったところで、一定期間を置いてその素案を広く周知いたしまして、それに対しての意見を求めるということで、一番上の参考人招致などが一番現実的な手法にはなるかと思っておりますけれども、これら手法、それから資料6でお話をいたしました様々な視点を持ちまして、議員定数についてこの委員会の場でご議論をいただければと思います。

また、必要な資料等ありましたら、事務局にお申し付けいただきますようお願いを申し上げます。事務局からの説明は以上でございます。

(半沢正典委員長) ただいま事務局よりお手元の資料の6、そして7につきまして説明がありました。今後委員会において調査、検討すべきと思われることや必要な資料についても、資料6、7を含めましてご意見がございましたら伺いたいと存じます。

(川又康彦委員) 前回、前々回の委員長報告については拝見させていただきまして、経緯についてもある程度承知したのですが、委員会の具体的な中身みたいなものを、議事録とかそういったもので委員会の中で見ることとか、参照することというのは可能ですか。

(議事調査課長) 特にその委員会の経緯でありますとか、まとめたものはございませんので、過去の記録あるいは資料を見ながら、そういったものを作成してご提示するということは可能でございます。

(川又康彦委員) 議事録そのものを見るというのは、手続き的に結構大変だということですか。

(議事調査課長) 議事録になりますと、開示請求とかいろいろありますが、議事録のポイントを委員会資料としてまとめるということは可能でございますので、議事録そのものではなく、加工した状態でご提供するということは可能です。ただ、その作業は16回であるとか14回の回数の資料でございまして、かなり加工をうまくやりませんと、作業的にもご覧いただくにあたって大変な部分がありますが、その辺具体的にどのようにしていくかご協議いただければ、そういう作業をしながらご提示することは可能でございます。

(川又康彦委員) 資料という形が適当か分からないのですが、全国議長会等で全国の市議会の定数についてというのも時期、時期で話題になって、全国的に取りまとめている資料なんかもあるように拝見しているのですが、そういったものプラス資料とかも要求すると、ある程度用意していただけるというように考えていいでしょうか。

(半沢正典委員長) 今後の委員会の資料として、今川又委員がおっしゃったような内容を含めまして提出する予定にあります。一応こちらの考えで提出させていただいたものに足りない部分また要求いただければ、用意できるものは極力用意をさせていただきたいと考えています。

ほかにごございましたら。

【「なし」と呼ぶ者あり】

(半沢正典委員長) それでは、今川又委員のほうからもいろいろご意見いただきました。資料の要望等を踏まえまして、今後正副委員長手元で整理をさせていただきたいと思います。

次に、(3)の今後のスケジュールについて確認をいたします。

今後のスケジュールについてであります。委員長報告の時期といたしましては、4年任期でありますけれども、後半の2年のときにまた委員会等の構成が変わりますので、遅くとも令和7年6月の定例会議に委員長報告をできますよう、それを目標としまして今後調査、検討を進めてまいりたいというふうに考えております。このような場合ですと、定例会議のある月などを除くと約14回の委員会の開催が可能と考えておまして、もちろんその前に合意形成が得られれば委員長報告するということは委員の皆さんの了解いただいた上では可能なのですけれども、現時点では令和7年の6月定例会議を目前に今後委員会を進めていく、そしてそのスケジュールを皆様にご提示できればなというふうに考えておりますが、その件につきまして皆さんのほうのご意見を頂戴したいと思います。

【「なし」と呼ぶ者あり】

(半沢正典委員長) 特にないようですので、今後のスケジュールにつきましては、次回の委員会におきまして、今言った内容に基づきスケジュール案を皆様のほうにお示ししたいと思います。

本日用意してあります議題のほうは以上であります。

本日の議員定数に関する調査特別委員会を閉会いたします。

午後1時50分 散 会

議員定数に関する調査特別委員長 半 沢 正 典